

2022年4月

JETRO

ダラス
City of Dallas

Cityscape of Dallas, Texas
夕日に染まるダラスのビル街、テキサス州ダラス

目次

Table of Contents

はじめに	3
全米ランキング	4
基本情報	5
経済	
概況	7
主要産業	9
企業	14
投資インセンティブ	15
高等教育／スタートアップ	17
ライフスタイル	19

【免責事項】

当レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ヒューストン事務所が米国調査会社Washington CORE, L.L.C.の協力を得て制作しました。原則2021年3月時点で入手した情報に基づきますが、一部統計等2021年末までに判明した情報を加えています。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、当レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

はじめに

Preface

ダラスへの投資の魅力

テキサス州北部に位置するダラスは、旅客数で世界でもトップクラスの米国内ダラス・フォートワース国際空港と、ダラス市中心部に近いダラス・ラブフィールド空港を有し、ニューヨーク、ロサンゼルス、メキシコシティ、トロント、シカゴ、アトランタといった北米の主要都市に3時間半以内で移動できる。また、5本の州間幹線道路と3つの一級鉄道が通り、陸上のアクセスも優れている。

ダラス地域では金融や航空宇宙、IT、通信など幅広い産業が盛んである。ダラス・フォートワース都市圏に本社を置くフォーチュン500企業は23社（2021年）に上り、またダラスに本社を持つ約3,400社のうち約270社は、世界で1,000人以上の従業員を雇用するグローバル企業である。AT&T、エクソンモービル、テキサス・インスツルメンツ（TI）、チャールズシュワブ（Charles Schwab）、アメリカン航空など国内大手の他、日本のトヨタ、NEC、7-Eleven、オリックス、スウェーデンのエリクソン、フランスのホテルチェーンのアコー（Accor）や眼鏡レンズ製造のエシロール（Essilor）など海外大手も米国、北米の本社を構える。

ダラスに事業拠点を置くことの利点には、米国中央に位置する優れた立地条件や米国160都市以上、海外50都市以上とを結ぶ充実した航空輸送網、豊富な専門職人材、低廉な事業コスト、ビジネスのしやすい文化などが挙げられる。また、ダラス市および地域商工会議所は移転を検討している企業を積極的に支援している。

生活環境も充実している。ダラス・アーツ・ディストリクト（Dallas Arts District）には市民の憩いの場クライド・ウォレン公園（Klyde Warren Park）の他、ダラス美術館（Dallas Museum of Arts）、ウィンズピア・オペラハウス（Winspear Opera House）、ワイリー劇場（Wylie Theatre）、ナッシャー彫刻センター（Nasher Sculpture Center）など多くの文化・芸術関連施設が集まっている。ケネディ大統領狙撃現場協のSixth Floor MuseumやジョージWブッシュ大統領図書館など歴史的史料・展示を学ぶ施設も豊富にある。



全米ランキング

Top Rankings in the United States



ダラス地域は数多くの経済・社会指標ランキングで頻繁に上位につけている。

- 1位** 2018年（2014年比）輸出額増加率の高い米国の都市圏
(2018年USA Trade Online)
- 1位** 2020年 企業の本社密集度の高い米国の都市圏（1万社超）
(2020年Resonance Consultancy)
- 1位** 2020年 VC投資額の伸び率が高い米国の都市圏
(2020年Telstra Ventures)
- 1位** 2020年 米国の都市部芸術地区の大きさ
(Dallas Arts District。2020年Resonance Consultancy)
- 2位** 2020年 テックタウン指標 全米都市圏ランキング
(2020年11月CompTIA)
- 2位** 2020年 商業開発ポテンシャルの高い米国の都市圏
(2021年CBRE)
- 3位** 2020年 フォーチュン500企業数
(2020年Resonance Consultancy)
- 5位** 2019年 多様性に富む米国の都市
(2019年WalletHub)
- 5位** 2019年 会議に適した都市全米トップ50
(2019年Cvent)

基本情報

Basic Information

ダラスは、テキサス州北部に位置し、大型国際空港や州間幹線道路網、鉄道網などインフラが高度に整っており、全米の主要都市へのアクセスが優れている。ダラスに本社とする企業数は1万社を超える。



ダラスの主要都市と主な空港・港



凡例



主要地域



北米空港旅客利用者数ランキング2019 - トップ50に含まれる空港



U.S.News & World Report2021年 - 大学ランキングでダラスの上位大学



ダラスのビル街の夜景

ダラス市人口（2010年～2019年、単位：人）

人口*	ダラス市	テキサス州	米国全体
2010年	1,197,658	25,146,091	308,758,105
2019年	1,343,573	28,995,881	328,239,523
人口増減率（%）	12.2	15.3	6.3

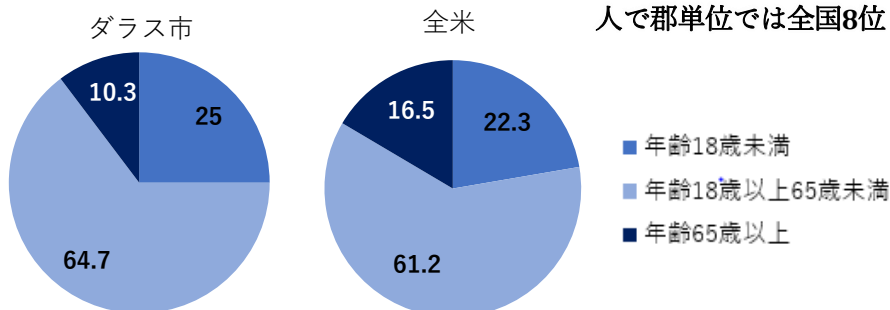
*米国勢調査局 2010年4月1日時点、2019年7月1日時点の推計。
以下データは特記無い限り同局

全米8位

ダラス市を郡庁所在地とするダラス郡の2010～19年の人口増加数は約27万人で郡単位では全国8位

ダラス市と全米の人口に占める年齢別内訳

（2019年、単位：%）



■ 年齢18歳未満
■ 年齢18歳以上65歳未満
■ 年齢65歳以上

ダラス市と全米の人種構成（単位：%、2019年）

人種	ダラス市	テキサス州	米国全体
白人	62.7	78.7	76.3
黒人（アフリカ系アメリカ人）	24.3	12.9	13.4
アメリカ先住民とアラスカ先住民	0.3	1.0	1.3
アジア人	3.4	5.2	5.9
ハワイ先住民とその他太平洋諸島の住民	0.0	0.1	0.2
2種類以上の人種	2.4	2.1	2.8
ヒスパニック（ラテンアメリカ人）	41.8	39.7	18.5
白人（ヒスパニック（ラテンアメリカ人）以外）	29.0	41.2	60.1

ダラス市と全米の25歳以上に占める高卒・大卒率（調査期間：2015～19年）

	ダラス市	米国
25歳以上の高卒率	77.5%	88.0%
25歳以上の大卒率	33.4%	32.1%

ダラス市 政治

市長：エリック・ジョンソン（Eric Johnson、民主党）。現在1期目、任期は2023年6月12日迄
政党性：ダラス市が所在するダラス郡は民主党支持層が多く、2020年大統領選では、ジョー・バイデン氏（民主）がドナルド・トランプ氏（共和）を得票率で約65%対約33%で上回った。

日本－ダラス関係

- ・在ヒューストン日本国総領事館管轄 在ダラス日本国名誉領事 七条恒（Dr. Hisashi Shichijo）
- ・在留邦人数 3,376人（2020年10月1日現在 総領事館調）
- ・アメリカ州政府協会在日事務所：テキサス日本事務所 渡邊 博之 代表
- ・ダラス市の姉妹都市：宮城県仙台市（1997年～）

経済概況

Economy

テキサス州の主要大都市圏の経済規模（2020年）

大都市圏	名目GDP (百万ドル)
ヒューストン・ザ・ウッドランズ・シュガーランド大都市圏	488,165
ダラス・フォートワース・アーリントン大都市圏	534,807
オースティン・ラウンドロック・ジョージタウン大都市圏	168,436
サンアントニオ・ニューブラウンフェルズ大都市圏	132,116
米国全体	18,820,862

データ：米国経済分析局

ダラス・フォートワース・アーリントン大都市圏の輸出額（調査期間：2015年～19年）



データ：米国国際貿易局

ダラス市の世帯数と所得（2015～2019年）

世帯・所得データ	ダラス市	テキサス州	米国全体
世帯数	513,443	9,691,647	120,756,048
平均世帯人数	2.56	2.85	2.62
世帯所得（中央値、ドル）	52,580	61,874	62,843
貧困率（%）	18.9	13.6	10.5

データ：米国国勢調査局

ダラス・フォートワース・アーリントン大都市圏の労働人口・失業者数

労働データ	2019年10月		2020年10月	
	ダラス 大都市圏	米国全体	ダラス 大都市圏	米国全体
労働人口（人）	4,012,036	165,151,025	4,029,405	162,083,614
失業者数（人）	126,006	5,589,429	244,370	10,706,622
失業率（%）	3.1	3.4	6.1	6.6

データ：米国労働統計局

経済一概況

Economy

ダラス・フォートワース・アーリントン大都市圏の職業別雇用数・ 平均賃金（2019年5月）

職業	雇用者数（人）		平均年間賃金（ドル）	
	ダラス大都市圏	米国全体	ダラス大都市圏	米国全体
全体	3,656,860	146,875,480	53,800	53,490
マネジメント	199,860	8,054,120	128,340	122,480
ビジネス・財務	232,060	8,183,750	80,490	78,130
コンピュータ・数理	158,490	4,552,880	94,450	93,760
建築・エンジニアリング	66,850	2,592,680	95,610	88,800
自然科学、社会科学	21,700	1,288,920	74,280	77,540
コミュニティ/社会サービス	30,090	2,244,310	52,810	50,480
法務	26,900	1,150,780	111,150	109,630
教育、訓練、司書	194,800	8,886,600	51,590	57,710
アート、デザイン、エンター テイメント、スポーツ、メ ディア	48,010	2,017,810	54,850	61,960
医療・看護・技師	191,130	8,673,140	81,760	83,640
医療補助	121,500	6,521,790	29,810	31,010
保安警備	75,440	3,498,800	46,990	49,880
飲食業	323,080	13,494,590	23,770	26,670
土地建物清掃メンテ	91,180	4,429,100	29,670	31,250
パーソナルケアとサービス	68,550	3,303,200	29,440	31,260
販売・営業	381,720	14,371,410	45,140	43,060
事務/管理補助	571,530	19,528,250	40,800	41,040
農業、漁業、林業	3,680	484,750	28,260	31,340
建設・採掘	149,510	6,194,140	44,240	52,580
設置、保守、修理	147,380	5,713,450	50,510	50,130
生産	205,810	9,158,980	38,070	40,140
運輸・運搬	347,580	12,532,030	41,360	37,920

データ：米国労働統計局

経済－主要産業

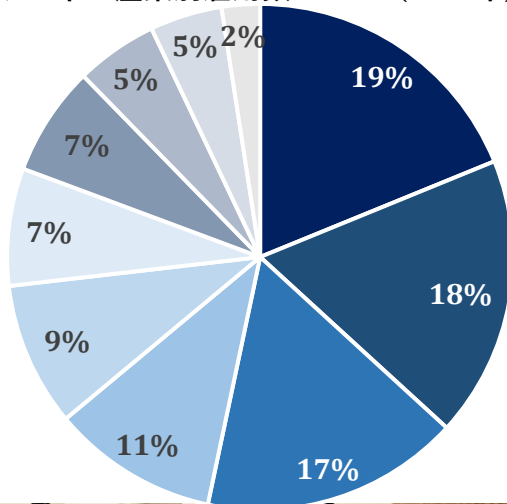
Major Industries

ダラス市では多様な産業が発展している。とりわけ金融、教育・医療サービス、専門・ビジネスサービス、情報といった産業分野で他地域よりも多くの雇用が生まれている。ダラスの雇用総数は115万1,601人（2018年）である。ダラス・フォートワース大都市圏全体で見ると、産業構造は米国内他都市圏と比較してもトップクラスの多様性を有し、米産業の縮図ともいえる。企業の本社機能が集中し、情報通信企業の集積であるテレコムコリドーを擁するなど製造業からサービス業まで地域産業の種類は豊富で、且つすそ野も広い。



ダラス市ビル街の夜景

ダラス市の産業別雇用数シェア（2018年）



- 商業・輸送・公益事業
- ビジネスサービス
- 教育・医療サービス
- レジャー・ホスピタリティ
- 金融活動
- 製造
- 政府関係
- 鉱業・林業・建設
- その他のサービス
- 情報

データ：ダラス市経済開発局



米国中部に位置する地理的な優位性、この利点を補うダラス・フォートワース国際空港や州間高速道路網、有料高速道路など高度に発達した交通インフラや、全米水準より低い事業コストや生活費などから、ダラス地域には、日系企業をはじめ数多くのグローバル企業が進出し、地域の雇用の拡大に貢献している。

経済－主要産業

Major Industries



ダラス・フォートワースを代表する主要産業



航空宇宙



金融・保険



製造



ハイテク



ヘルスケア



ライフサイエンス



ホスピタリティ



食品・飲料



物流

ダラス・フォートワースを代表する主要産業には、①航空宇宙、②金融・保険、③製造業、④ハイテク、⑤ヘルスケア、⑥ライフサイエンス、⑦ホスピタリティ、⑧食品・飲料、⑨物流等がある。

なお、主要産業の記載に当たっては、ダラス地区商工会議所（Dallas Regional Chamber：DRC）のウェブサイト及び資料を参考に作成した。実際に競争力の高い産業もあるが、今後の成長を見込んでいる産業も含まれている。

経済－主要産業

Major Industries



航空宇宙 *Aviation and Aerospace*

ダラス・フォートワースは、米国でも有数の航空宇宙産業が盛んな地域である。アメリカン航空、サウスウエスト航空、アメリカン航空子会社のエンヴォイ・エア（Envoy Air）の本社や、エアバス・ヘリコプターの北米本社がある。ダラス・フォートワース空港（DFW）はアメリカン航空の、ダラス・ラブフィールド空港（Dallas Love Field Airport）はサウスウエスト航空のハブ空港である。地域の航空宇宙分野関連企業数は600社、雇用者数は9万人超に上る。ロッキード・マーティンとベル・ヘリコプター（Bell Helicopter）の雇用者数は2社で1万5,000人を超え、この分野では地域最大の雇用主である。主な事業領域は航空機・部品製造（104社：雇用者数3万3,383人）や旅客航空輸送（145社：雇用者数3万8,724人）、航空輸送支援業（272社：雇用者数1万2,445人）など。地元ビジネス誌でも航空業界の動向は特に多く報じられ、地元の中核産業であることがうかがえる。



金融・保険 *Financial Activities*

ダラス・フォートワースは地域金融産業の中心である。2019年時点で関連企業は1万1,803社（雇用者数23万4,631人）に上る（ダラス連邦準備銀行（Federal Reserve Bank of Dallas）の関連雇用者数が1,061人、信用仲介業が3,754社（10万7,893人）、証券・商品取引・投資関連が3,193社（3万1,053人）、保険業が4,742社（9万4,049人）、ファンド・信託・その他の金融機関が107社（575人））。証券大手チャールズシュワブ（Charles Schwab）は2021年1月、カリフォルニア州からダラス市北西の郊外ウエストレークに本社を移転した。他証券・投資関連ではバンク・オブ・アメリカ、フィデリティ・インベストメンツ、JPモルガン・チェース、シティグループ、ウェルズ・ファーゴなど、保険ではステートファーム（State Farm Insurance）やリバティ・ミューチュアル（Liberty Mutual Insurance）など。



製造 *Manufacturing*

製造業はダラス・フォートワースの雇用の7.3%を占めている。テキサス州の製造業雇用の31.2%をダラス・フォートワースが占めている。自動車や航空宇宙関連部品、プラスチック、鉄鋼製品から、ブーツや衣服など生活用品まで多岐にわたる。2019年時点で企業数は6,616社、雇用者数は28万4,589人。ゼネラルモーターズ（GM）のアーリントン工場は1954年に製造を開始。現在シボレー・サバーバン（Suburban）やタホ（Tahoe）、GMC ユーコン（Yukon）などフルサイズSUVを製造している。トラック専門メーカーのピータービルト（Peterbilt）は1980年からデントン工場に製造。他完成車企業では、トヨタが2017年、北米の製造、販売、金融等の本社機能をプレイノに集約した（同社の州内ピックアップトラック製造拠点はサンアントニオ市に所在）。



経済－主要産業

Major Industries



ハイテク *High Technology*

ダラス・フォートワースのハイテク産業は製造、情報サービス、専門・技術サービス、ライフサイエンス等多岐に広がる。2019年の時点でハイテク関連企業が1万1,811社あり、雇用者数は26万2,208人に上る。ダラス北部のリチャードソン市周辺にはテレコムコリドー（Telecom Corridor：回廊）と呼ばれるハイテク産業の一大集積地がある。テキサス大学ダラス校（UT Dallas）キャンパスもここに含まれる。ダラス市本社の半導体製造大手テキサス・インスツルメンツ（TI）は地域を代表する企業の一つ。同社のジャック・キルビー氏が1958年にIC（集積回路）を発明し、ダラスが米国ICT産業の中核地として発展する契機となった。同氏は2000年にノーベル物理学賞を受賞した。その他AT&T、シスコシステムズ、富士通、NEC、サムスン電子アメリカ、IBM、マイクロソフト、オラクル、アマゾン、メタ（旧フェイスブック）など多数の大手企業が進出している。



ヘルスケア *Health Care*

ダラス・フォートワースには、テキサス大学サウスウエスタン医療センター（University of Texas Southwestern Medical Center）やベイラー大学医療センター（Baylor University Medical Center）をはじめ、82か所の救急病院や総合病院がある。パークランド病院の熱傷センター（Parkland Burn Center）は全米有数の熱傷治療専門病院として知られている。2019年時点でヘルスケア関連企業は2万5,581社、雇用者数は47万7,959人に上る。このうち多くは病院やドラッグストアで、医薬品や医療機器製造企業は302社（1万1,506人）である。



ライフサイエンス *Life science*

ダラス・フォートワースのライフサイエンス関連企業は2019年の時点で1,167社、雇用者数は2万6,734人に上る（医療用機器・用品製造（233社、6,268人）、医薬品製造（57社、4,477人）など）。代表的企業には眼科用治療器やコンタクトレンズ大手のアルコン（Alcon、フォートワース市創業、現本社はスイス）や仏眼科レンズメーカー大手のエシロール（Essilor、米本社ダラス）、2019年に本社をサンフランシスコから移転した医薬品卸大手マッケソン（McKesson、本社アービング）などがある。テキサス大学サウスウエスタン医療センター（University of Texas Southwestern Medical Center）は生物・生化学研究分野で米国有数の実績で知られる。



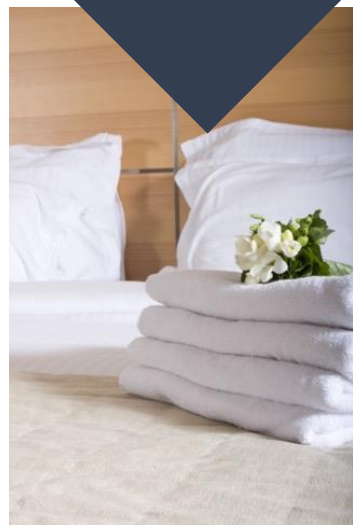
経済－主要産業

Major Industries



ホスピタリティ *Hospitality*

ダラス・フォートワースとその郊外には様々な会議やイベントを受け入れられるコンベンション施設と幅広い価格帯の宿泊施設が揃っている。ダラス・フォートワース国際空港から地域の各ビジネス街まで車で約30分圏内、ダラス・ラブフィールド空港からダラス市中心部には車で約15分と近い。各種展示会、会議用施設では、ケイ・ベイリー・ハッチソン・コンベンションセンター (Kay Bailey Hutchison Convention Center) など各地域にコンベンションセンターがある。ダラス市に本社を置くオムニ・ホテルズ・アンド・リゾート (Omni Hotels & Resorts) の他、ヒルトンやハイアット、ウェステイン、マリオットなど系列ホテルの会場も利用できる。例年200万人以上が集まる全米最大級のレクリエーションイベント「ステート・フェア・オブ・テキサス (State Fair of Texas)」や、1937年から続く伝統ある大学フットボール試合コットン・ボール・クラシック (Cotton Bowl Classic) なども、ホスピタリティ産業の成長に大きく貢献している。



食品・飲料 *Food and Beverage*

ダラス地域では食品・飲料関連企業の本社機能から生産、流通、小売まで1万5,000社を超える企業が所在し、約37万人を雇用している。チップスなどのスナック製造大手フリトレイ (Frito-Lay) や、チリーズなどレストランチェーンを傘下にするブリンカー・インターナショナル (Brinker International) など。炭酸飲料ドクターペッパーなど製造するキュurig・ドクターペッパーは2021年、フリスコ市に本社ビルを完成させた (マサチューセッツ州バーリントンとの2本社制を採用)。ダラス地域の食品・飲料産業の成長が続く。2017年にビジネス誌 Site Selection が行った「北米で最も競争力のある都市圏ランキング：食料・飲料部門」で、ダラス・フォートワース都市圏は1位を獲得している。



物流 *Logistics*

ダラス・フォートワースは米国中部に位置し、鉄道、航空、トラックによる輸送アクセスに優れることから、米国の流通ハブの一つに数えられる。空路ではダラス・フォートワース国際空港およびフォートワース・アライアンス空港による大規模な貨物輸送が可能。鉄道ではフォートワースに本社を置くBNSF鉄道 (BNSF Railway)、ダラス郡南部でダラス・インターモーダル・ターミナル (Dallas Intermodal Terminal) を運営するユニオン・パシフィック (Union Pacific) がある。両社は米中部から西部に広範な鉄道網を有する。道路網ではダラス市中心で3本の州間高速道路 (I-30、I-35、I-45) が交差し、その他近隣にはI-20や多くの州道が通っている。トラック輸送で48時間以内に米国人口の最大93%に相当する地域に到達できる。I-35 (USMCA コリドー) はカナダとメキシコに直結している。



経済－企業

Major Companies



ダラス市の事業所数、マイノリティ所有事業所数、 退役軍人所有事業所数（2012年）

事業所の種類	総数
事業所	2,356,748
マイノリティ所有事業所	1,070,392（事業所数比45.4%）
退役軍人所有事業所	213,590（事業所数比9.1%）

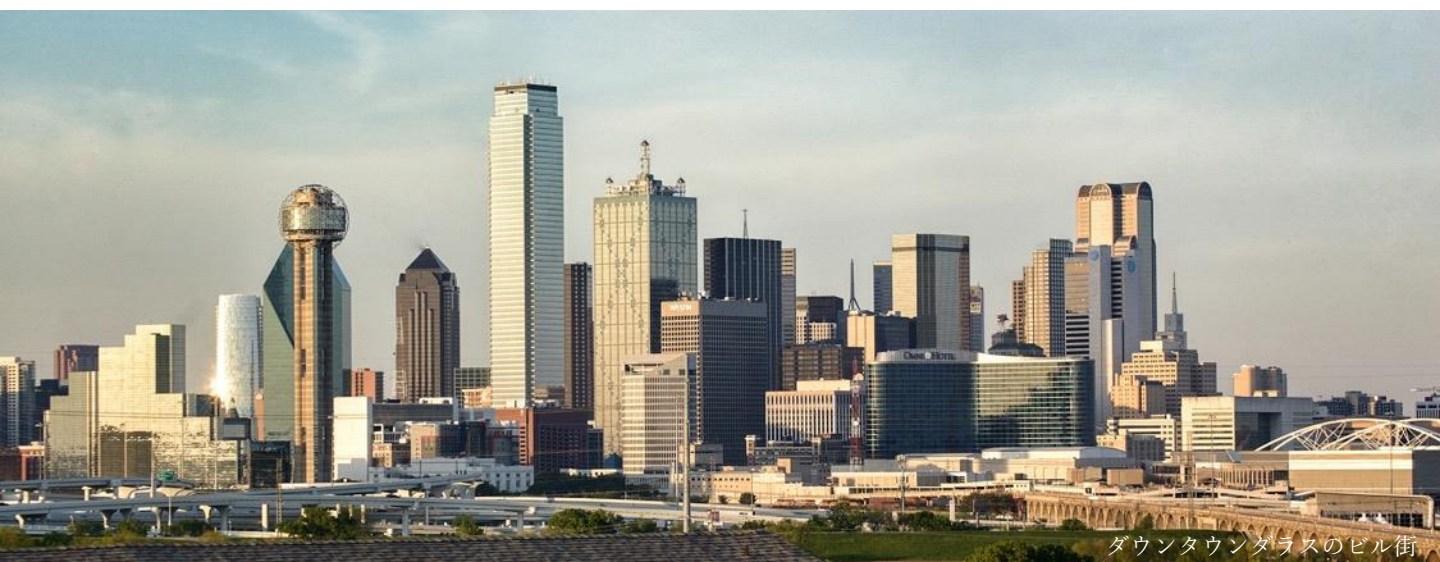
データ：米国情勢調査局

Fortune 500にランクインしたダラスに拠点を置く上位10社（2020年）

順位	企業名	業種	売上* （億ドル）
9	AT&T	情報通信・メディア	1,811.9
59	エナジー・トランスファー（Energy Transfer）	天然ガス・プロパンのパイ プライン輸送	542.1
141	サウスウエスト航空（Southwest Airlines）	航空サービス	224.2
174	テネット・ヘルスケア（Tenet Healthcare）	医療施設運営	184.7
184	ホリーフロンティア（HollyFrontier）	石油精製・小売	174.8
206	ジェイコブズ・エンジニアリング・グループ （Jacobs Engineering Group）	建設・エンジニアリング	154.6
222	テキサス・インスツルメンツ（Texas Instruments）	半導体製造	143.8
421	ディーン・フーズ（Dean Foods）	乳製品製造	73.2
425	ビルダーズ・ファーストソース（Builders FirstSource）	建築資材製造	72.8
483	エンリンク・ミッドストリーム（EnLink Midstream）	天然ガス・原油等処理・輸 送・貯蔵	60.5

注：売上は昨会計年度（Last Fiscal Year）の数値。

出典：Fortune発表を基に作成



ダウンタウンダラスのビル街

投資インセンティブ

Investment Incentives

ダラス市で企業が利用できる投資インセンティブの例は以下のとおり。（その他、テキサス州政府が提供する税優遇措置等もある。詳細は別冊「テキサス州」の投資インセンティブに関する解説部分を参照）。

ダラス政府の主な投資インセンティブ（2020年12月時点）

インセンティブ	概要
官民パートナーシッププログラム (Public/Private Partnership Program : P/PP Program)	資金ギャップのある開発プロジェクトや、ダラス以外の地域と競争状況にあるプロジェクトに対し、ダラス市から減税、事業開発融資、インフラコスト負担などの支援が提供される。支援規模はターゲット地域 (Target Areas) と非ターゲット地域 (Non-Target Areas) により異なる。ターゲット地域では25人以上の雇用、または100万ドル以上の投資が必要なのに対し、非ターゲット地域 (Non-Target Areas) では100人以上の雇用または500万ドル以上の投資が必要である。
タックス・インクリメント・ファイナンスング (Tax Increment Financing : TIF)	ダラス市内で再開発地区に指定されたプロジェクトに対して、その再開発事業を通じて生じる固定資産税の増収分でプロジェクト資金の一部を賄うもの。現在ダラスには18か所のTIF地区がある。
新市場税額控除プログラム (New Markets Tax Credits : NMTC)	資金ギャップのあるコミュニティで行われるプロジェクトに対し、連邦運輸省からの助成金に基づきダラス市経済開発局 (City of Dallas Office of Economic Development) が管理するダラス開発基金 (Dallas Development Fund : DDF) から初期投資の39%に相当する税額控除が提供される。同プログラムからはこれまでに、1億8,500万ドル相当の税額控除が提供されている。
不動産評価クリーンエネルギープログラム (Property Assessed Clean Energy : PACE)	2013年に成立したテキサス州法である不動産評価クリーンエネルギー法 (Property Assessed Clean Energy Act : SB 385) に基づくプログラムで、同州でダラス市が最も早く施行したことで知られている。このプログラムでは、商業ビルや産業施設、複合住宅の所有者に対して、エネルギー効率向上や節水向けの改修や再生可能エネルギー設備導入プロジェクトへの融資が行われている。
パブリック・インプルーブメント・ディストリクト (Public Improvement District : PID)	ダラス市が指定する地区の土地所有者を対象に、再開発事業、設備改善、保守・管理サービスといった費用をダラス市が負担する。現在ダラスには14か所のPIDがある。

出典：ダラス市経済開発局

投資インセンティブ

Investment Incentives



ダラス市スカイビュー

ダラスの主要な経済開発組織および商工会議所は以下のとおり。

経済開発組織・商工会議所

組織	概要
ダラス市経済開発局 (City of Dallas Office of Economic Development)	ダラス市経済開発局は、ダラスの経済成長につながるビジネスと都市開発・再開発プロジェクトの支援を担当している。具体的には、ダラスに投資する企業への投資インセンティブプログラムの運営や、中小企業のサポート、ダラスでの生活関連情報やデータの紹介などを行っている。
ダラス地区商工会議所 (Dallas Regional Chamber : DRC)	1909年に設立されたDRCは、会員企業や地域のパートナーとの協力に基づき、経済成長を促進する公共政策の提唱、教育システム・人材開発の強化、コミュニティの多様化・差別撤廃を使命としている。主要なメンバー企業は、トヨタ、AXXESS、AT&T、テキサス・インスツルメンツ (TI)、ウェルズファーゴ、コメリカバンク、BCG、EY、NBAプロバスケットボールチームのダラス・マーベリクスなど。

データ：ダラス市経済開発局、DRC

高等教育 / スタートアップ

Higher Education / Startup

主要大学

ダラスの著名な大学として南メソジスト大学（Southern Methodist University：SMU）とテキサス大学ダラス校（University of Texas at Dallas：UT Dallas）がある。

南メソジスト大学（SMU）

1911年創立のダラスの私立大学で、US Newsの2021年全米総合大学ランキング（2021 Best National University Rankings）では66位。2017年の連邦政府資金によるR&D支出は約1,446万ドルで、国防総省や国立科学財団などが支援している。2020年6月には、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校（Urbana-Champaign）の米国立スーパーコンピュータ応用研究所（National Center for Supercomputing Applications）と提携し、高度なコンピューティングやデータサイエンスを促すと発表した。また、同大キャンパスにはジョージ・W・ブッシュ大統領図書館・博物館（George W. Bush Presidential Library and Museum）があることでも知られている。

テキサス大学ダラス校（UT Dallas）

ダラス北部のリチャードソン市にある1969年創立の州立大学である。前身は半導体大手テキサス・インスツルメンツ（TI）がダラス地域で不足していた理系人材養成のために1961年に設立した研究所である。2017年の連邦政府資金によるR&D支出は約3,610万ドルで、保健福祉省や国立科学財団から多くの支援を受けている。Office of Technology Commercialization（OTC）を通じて、学内研究者や外部パートナーと提携してダラス校での研究成果の商業化を推進している。



コミュニティカレッジ

コミュニティカレッジは、主に2年間の公的高等教育機関である。ダラスには、テキサス州最大規模のコミュニティカレッジシステム、ダラス・カレッジ（Dallas College）がある。7カ所のキャンパスからなり、1965年の創立以来、約300万人が学んでいる。

ダラス・カレッジでは、地元企業と提携して、10週間のエクスターンシップ（短期就業経験）プログラム「mINiTERN」を学生に提供している。また、21都市で1万9,500人以上に職業訓練プログラムを提供してきたダラスの非営利団体Year Upと提携し、18歳～26歳を対象とした1年間のビジネス研修プログラムを提供している。このプログラムに参加する訓練生は、ダラス・カレッジで6か月のクラスを受講して技能を学び、その後6か月にわたる企業インターンシップを行う。インターン先にはバンク・オブ・アメリカ、AT&T、JPモルガン・チェース、生命保険大手ニューヨーク・ライフ（New York Life）といった大手企業も含まれている。

高等教育 / スタートアップ

Higher Education / Startup

スタートアップ

ダラスのスタートアップ企業を支援する主な組織は以下のとおり。

組織	概要
● Sevin Rosen Funds	1981年設立のVC。2015年に次世代型テレビ会議システムのVidyoが1,500万ドルの資金を調達したシリーズE投資ラウンドに参加。
● Green Park & Golf Ventures	2011年設立のVC。ダラスに本社を置くAI技術のWorldsが2020年に1,000万ドルの資金を調達したシリーズA投資ラウンドなどに参加。
● CenterPoint Venture Partners	1996年設立のVC。テキサス州オースティンの熱管理技術企業Nuventixによる2014年の490万ドルの借入金融や、同州リチャードソンのハイブリッドコア・コンピューティング企業Convey Computerが2013年に1,550万ドルを調達したプライベートエクイティ・ラウンドなどに参加。
● RevTech Ventures	2011年設立のVC。電子商取引や消費者嗜好分析、サプライチェーン管理等、小売分野に特化した技術への投資に注力。
●● Tech Wildcatters	2009年設立のVC兼アクセラレーター。2019年ダラスのアフリカコンテンツ専用ストリーミング映画TVプラットフォームのAfroLandTVが16万ドルの資金を調達したプレシード投資ラウンドに参加。

● VC ● アクセラレーター

出典：各組織のウェブサイト

“

ダラスには素晴らしいイノベーション人材、そして更なるイノベーションの可能性が豊富にある。
ダラスはこれまでスタートアップ企業を育む地域として発展してきた。

「スタートアップフレンドリー・シティー」

の定評や実績に甘んじることなく、もっと取り組めることがある。
ダラス市イノベーション・起業タスクフォースの仲間と共に、今後ダラス市をもっと前に進めることができると信じている。 ”

2021年1月
ダラス・イノベーション・アライアンス共同創設者
ダラス市イノベーション・起業タスクフォース共同議長
トレイ・ボールズ氏 (Trey Bowls)

ライフスタイル Lifestyle

生活基本データ（調査期間：2015年～19年）

生活基本データ	ダラス市	米国全体
世帯所得（中央値、ドル）	52,580	62,843
住宅価格（中央値、ドル）	188,100	217,500
家賃（中央値、ドル）	1,052	1,062
持ち家率（%）	40.9%	64.0%

データ：米国国勢調査局



人気居住エリア

地域の学校の質、犯罪率、住宅供給傾向、雇用統計、各種施設へのアクセスなどをもとにしたダラス・フォートワースの住みたいエリアランキング（Niche.com）によると、2021年の第1位は、ダラス市の北東にあるリチャードソン市のコットンウッズ・クリーク・サウス（Cottonwood Creek South）、第2位は同じくリチャードソン市のハイツパーク（Heights Park）、第3位はダラス市北西のコペル市（Coppell）だった。この他にもダラス北部のプレイノ市（Plano）やフリスコ市（Frisco）、キャロルトン市（Carrollton）など、ダラス・フォートワース地域では北部を中心に優れた住環境の町が特定の場所に固まることなく多数あることが特徴である。

交通事情

ダラス高速運輸公社（Dallas Area Rapid Transit：DART）が、ライトレールやバス、路面電車、通勤用鉄道 Trinity Railway Express（TRE）など主な公共交通システムを運営している。

米国国勢調査局によると、2015年から2019年におけるダラス市の16歳以上の住民の通勤手段は車、トラック、バンを一人で運転が76.7%、車、トラック、バンの相乗りが11.0%、公共交通機関（タクシーを除く）が3.8%、徒歩が2.1%の順。同期間のダラス市の通勤時間平均は27.1分で、全米平均の26.9分並み。但し、朝夕の通勤ラッシュは激しい。



ダラス市内路面電車

日本関係コミュニティ

ダラス日本人会（Dallas Japanese Association）はダラス・フォートワース地域に居住する日本人・日系人の親睦や地域社会との交流を目的に秋祭りや新年会、文化イベントを開催。商工会機能は同会商工部会が担っている。ダラス・フォートワース日米協会（Japan-America Society of Dallas/Fort Worth）は文化・芸術、教育、ビジネス、国際交流等多岐にわたるプログラムを開催。日本の政治経済話題を扱うJapan Update Symposiumや日米関係の功績者を表彰するSun & Star Legacy Award Dinner、餅つきやお月見など文化行事、日本語教室など多彩。ダラス北部のキャロルトン市（Carrollton）にダラス補習授業校（Japanese School of Dallas）がある。

ライフスタイル

Lifestyle

米高級デパートNieman Marcusの本社があるダラス。ショッピングから食事、文化芸術など都会的な楽しみに加え、自然や公園など憩いの場も豊富だ。プレイノ市の大型商業区域レガシーウェスト（Legacy West）など地域北部には新興の町、住宅街がどんどん広がっている。人種や所得、文化などの多様性が高く、海外から来た人にとっても住みやすい地域である。



ダラス・アーツ・ディストリクト



テニソン・パーク

博物館／美術館／史跡等

ダラス・アーツ・ディストリクト（Dallas Arts District）には市民の憩いの場クライド・ウォレン公園（Klyde Warren Park）の他、ダラス美術館（Dallas Museum of Arts）、ウィンズピア・オペラハウス（Winspear Opera House）、ワイリー劇場（Wyly Theatre）、ナッシャー彫刻センター（Nasher Sculpture Center）など。このほかケネディ大統領狙撃現場脇のSixth Floor MuseumやジョージWブッシュ大統領図書館、ペロー自然科学博物館などが市民、観光客でにぎわう



スポーツチーム

ダラス・カウボーイズ（Dallas Cowboys：NFL）、ダラス・スターズ（Dallas Stars：NHL）、ダラス・マーベリクス（Dallas Mavericks：NBA）、テキサス・レンジャーズ（Texas Ranger：MLB）、FCダラス（FC Dallas：MLS）など。

住民気質

米国における人口トップ20の都市圏の住民に対して、その地域に住む人々が概して「おおらか（easy going）」かどうかを調査した結果、ダラス・フォートワース都市圏の回答者の54%が「おおらか」と答えた。これは第1位のオーランド都市圏に次ぐ第2位（ヒューストン都市圏と同位）であった。



A graphic element consisting of a dark blue horizontal bar on the left that transitions into a diamond-shaped geometric pattern on the right. The diamond is composed of concentric, interlocking lines in dark blue and light blue, creating a stylized, maze-like appearance.

JETRO

ジェトロ・ヒューストン事務所
1221 McKinney Street, Suite 4141,
Houston, Texas 77010, U.S.A.
Email: inqu-hou@jetro.go.jp

写真：引用記載が無いものはShutterstockの素材を基に作成。Images used under license of Washington CORE with Shutterstock.com.

制作協力 Washington CORE, L.L.C